

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：マジオたんぽぽ保育園観音	種別：認可保育園
代表者氏名：小柳 恒雄	定員（利用人数）：60名
所在地：〒210-0831 川崎市川崎区観音1-8-20	
TEL：044-589-4402	ホームページ：
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2020年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社マジオネット多摩	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：11名
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：1名
	保育士：19名 管理栄養士：2名
	栄養士：1名 調理師：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室 設備：調理室
	居室：1歳児室 設備：調乳スペース
	居室：2.3歳児室 設備：事務室兼医務室
	居室：4.5歳児室 設備：休憩室
	設備：更衣室
	設備：0.1歳児トイレ
	設備：2歳児トイレ
	設備：3歳児トイレ
	設備：4.5歳児トイレ
設備：多目的トイレ	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

私たちは、誰もが幸せになれる未来を創造するために、保護者と一体となり、人間性豊かな子どもを育てることで、社会に貢献する。

## &lt;基本方針&gt;

1. 自分の気持ちを十分に表現できる環境を提供する。
2. 子どもの個を認め、受け止める。
3. 一人一人を十分に愛し、共感する。
4. 製作、音楽活動、生き物の飼育などを通して、感性を育む。
5. 保護者と一体となり、チャレンジできる場所、機会を与える。
6. 皆が理念、目標に賛同できるように、啓発し続ける。

## &lt;保育目標&gt;

1. 自ら考えて、創意工夫ができる子
2. 人を思いやれる心の優しい子
3. 自分を信じ、愛することができる子
4. 知的好奇心の旺盛な子
5. 挑戦できる勇気のある子
6. 皆が一体となり、社会に貢献できる子どもを育む

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

＜マジオたんぽぽ保育園観音の特徴的な取り組み＞

●保護者支援の一環として、「手ぶら保育」を推奨しており、連絡帳のICT化、オムツを一袋お預かりし、記名を保育士が負担、食事エプロン、手拭きタオルも園にて管理しています。

●週1回、英語教室を行い、4歳、5歳児は、将棋教室、5歳児は太鼓教室など日本古来の伝統に触れることもできます。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年05月23日（契約日） ～ 2022年12月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

#### ⑥総評

【マジオたんぽぽ保育園 観音の概要】

●マジオたんぽぽ保育園観音は、株式会社マジオネット多摩（以下、法人という）が運営する、定員60名の認可保育園です。法人は、感謝の心を忘れない「利他」の心を持った子ども、のびのびと自分を表現できる子ども、心身ともに豊かな子どもの育成を目指し、時代のニーズに即したきめ細やかな子育て支援サービス事業を展開しており、現在、東京・神奈川で9園の保育園の運営を行っています。法人は、共働き世帯の増加や核家族化・ライフスタイルの多様化等、子育て環境が大きく変化する時代において、次世代を担う子どもたちの、健やかな成長を温かく育てていくことが使命と考え、社会に貢献しています。

●マジオたんぽぽ保育園観音は、京浜急行大師線「川崎大師駅」から徒歩15分程度（約1km）、南に位置し、近隣は住宅地として比較的早くから開発された地域であり、近くには藤崎小学校、川中島中学校等があります。現在は、京浜急行大師線「鈴木町駅」付近が再開発され、大きな商業施設も建ち、京急川崎駅経由で東京、横浜等とのアクセスも良いため、大きく発展する見通しであり、今後は需要（人口増加）が期待される状況です。

●マジオたんぽぽ保育園観音は、乳児保育、障害児保育、延長保育を実施し、他、独自カリキュラムとして乳児期から英語遊びを週1回取り入れ、幼児クラスは囲碁教室、和太鼓教室（5歳児）を行っています。保育理念に、「私たちは 誰もが幸せになれる 未来を創造するために 保護者と一体となり 人間性豊かな子どもを育むことで社会に貢献する」と掲げ、保護者も子どもも安心して通える、地域に根ざした保育園を目指しています。土地柄、保護者が外国籍の子どもが比較的多いですが、子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、年齢、国籍、障害の有無等の違いを受け入れ、愛情を持って子どもたちを育てています。

◇特長や今後期待される点

### 1. 【「手ぶら保育」の推進】

●マジオたんぽぽ保育園観音では、保護者支援の一環として、「手ぶら保育」を推進しています。朝の限られた時間の中で、保護者の出勤用意、子どもの登園準備に、忘れ物をせず、時間内に行う大変さを保護者全員が痛感しており、その気持ちに寄り添い、手ぶらで登園できるよう工夫しています。家庭から持参しているオムツについては一袋を預かり、記名、管理は保育士が行い、食事エプロン、手拭きタオルも園で預かり、洗濯・管理を行うことでルーティンの持参は無くして済むよう配慮しています。また、連絡帳についてはICT化（WEL-KIDS）を導入し、保護者が通勤途中での記入や確認ができるよう効率化を図っています。

### 2. 【多彩な課外活動】

●園舎は、マンションの1階及び2階の一部を活用し、玄関入り口には土に触れることができる限られた園庭もあります。園の近くにはのびのびと体を動かせる広い大師公園等があり、自然に親しんだり、一人ひとりの興味や関心を広げ、自主性・主体性を持った製作活動等を行っています。課外活動・特別活動では、夏頃から週1回、法人運営の英語塾の講師が来園して来て0歳児も含め英語あそびとして英語に親しむ活動を取り入れています。4歳、5歳児では将棋教室を行い、園長自らが指南を行うこともあります。5歳児は和太鼓教室を実施する等、日本古来の伝統に触れ、礼儀作法、集中力・判断力、発想力等を養い、自分で「考える力」を培っています。保育室は0歳児、1歳児クラスは単独の保育室とし、2歳児～3歳児、4歳児～5歳児は異年齢でそれぞれ同じ保育室で過ごしており、各年齢に応じた課外活動を含め、幅広い活動を豊かに展開しています。

### 3. 【インクルーシブ保育】

●マジオたんぽぽ保育園観音では、「全体的な計画」の中で「インクルーシブ(inclusive)」保育を標榜し、取り組んでいます。「インクルーシブ」保育とは、子どもの年齢、国籍、障害の有無等を全て受入れ、一人ひとりの個性を認め共に過ごすことで、仲間として理解と認識を深め、社会性や豊かな人間性を身に付けるようにします。子どもが、世の中には多種多様な人がいること、違いがある人との関わり方を学べることの他、保育士にとっても問題解決スキル等、高い保育スキルが身に付き、幅広い知識が身に付く利点があります。半面、実践には支援体制作り、保育士が専門的知識を必要とする等、物理的な課題も挙げられます。園では、正しい知識を持ち、一人ひとりの個性に合わせた保育を心がけ、柔軟な対応に努めています。

### 4. 【常勤職員の人材確保】

●マジオたんぽぽ保育園観音は、常勤職員15名に対し、非常勤職員11名という職員体制で運営しています。現状、指導的立場の職員が希薄な中、特定職員にかかる負担が大きくなっており、現在の非常勤職員を含めた全職員の育成に力を入れ、意識の向上を図ると共に体制の構築に向け努力中です。要因の1つとして、保育士人材不足の現状から体制構築に苦慮していることが挙げられます。常勤職員を確保する取組として、実習生の受入れから入職へ誘う機会を設ける等、一考が望まれます。また、実習生等の専門職育成への寄与を含め、職員の「実習生指導のための研修」の実施等、受入れ体制を整備することは日常業務の見直しにもつながります。保育士養成校等へのアプローチ、実習生の受け入れ、インターンシップ等に力を入れ、今後、人材確保へつなげる積極的な工夫が期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：マジオたんぽぽ保育園 観音

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

自園の現状のありのままの姿を客観的に評価いただき、今後、より良い園にしていく為の指針ができた。

特に、「評価B」の項目については、今後、改善・改革していきたい。

<評価後取り組んだ事として>

1. 不足していた各種マニュアルの作成
2. 外部研修受講によるチームワーク体制のさらなる構築
3. 保育理念・方針・目標のさらなる認識強化

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり